

高校男子ハンドボール部

新人戦 奇跡の東京都優勝！！

11月23日、駒沢和体育館で秋季大会東京都予選決勝リーグが行なわれた。20日、都立東大和にまさかの敗戦、優勝を目指す明星は最終戦、全勝の昭和第一に勝利し、なおかつ得失点差で11点差をつけなければならない。11点は大きい、しかし、明星はキャプテン大木を中心に夏のインターハイ予選で負けている昭和第一にリベンジ、12点差をつけて勝つと心に誓った。試合開始から明星の執念が勝り、相手の攻撃をしのぎ確実に得点を重ね前半11-6で折り返す。後半に入っても明星のディフェンスのあたりは衰えず相手の攻撃をことごとくつぶしていった。10点差がついた、あと1点、11点差目はなかなか入らなかった、応援団はジリジリ焦り手に汗を握った、しかし、選手は落ち着いていた、的確にパスを回しチャンスと思われた時、高橋が強烈なミドルシュートを放った、相手キーパーは一步も動けずゴールネットだけが揺れた。11点差目が入った、応援団には「優勝」の文字がちらつく、「このまま時間が流れてくれ」しかし、明星は守りに入らなかった、攻めて攻めて攻め抜いてキャプテンの大木が残り時間2分を切った所で執念誓いの12点差目を決めた。20日の都立東大和戦とは別人、見違える戦いを繰り広げた。1年のキーパー山形もゴールを死守した。ノーマーク、1対1の場面でのファインセーブ、チームの危機を何度も救った。「奇跡の優勝！！」と書いたが、東京都の決勝戦で11点差をつけて勝つ難しさは誰にでも分かるだろう。この奇跡は奇跡ではない、日常の、毎日の、積み重ねの結果である。苦境を乗り越え目標を達成したハンドボール部に大きな拍手を贈り、あきらめずに挑戦したこの勝利に私達も大きな物を学ぶ。おめでとう！！ 東京都優勝！！

	明星	安田	東大和	昭和一
明星		32○27	27●25	26○14
安田	●		●	●
東大和	○	○		●
昭和一	●	○	○	

高校女子 ハンド

新人戦 女子三位決定戦

11月23日、駒沢体育館で秋季大会東京都予選決勝リーグが行なわれ、白梅高校と3位をかけて激突した。前半、野口のみドルシュート、安部のカットインが決まり8-6とリードするが、後半、明星にミスが出て追いつかれてしまう。一進一退の攻防が続くが終盤、相手に押し切られ14-17で逆転負けとなってしまった。今回は怪我人・体調不良が出て万全のチーム状態ではなかった。でも、それを言い訳にはしない。春、必ずリベンジ、当たり前負けしない体、フィジカルを鍛える。悔しい東京都4位。上を目指す

	明星	佼成	白梅	文杉並
明星		16●40	15●21	14●17
佼成	○		○	○
白梅	○	●		○
文杉並	○	●	●	

高校女子 バスケ

新人戦 4回戦突破

11月23日、都立駒場高校体育館で新人戦4回戦が行われ都立松が谷高校と対戦した。明星は立ち上がり絶好調、白井の3点シュートで先制、南部の連続ゴール、中山の連続3点シュートで相手を突き放し、とどめは宮島の3点シュート、第1ピリオド32-16、これで勝負ありと思われたが、後半、第3ピリオド相手の猛攻、3点シュートを5本入れられ、明星の攻撃は不発、55-55と同点とされた。第4ピリオド、明星のディフェンスは相手にぴったりマーク、3点シュートを抑え攻撃のチャンスをうかがった。一進一退の攻防が続く中で南部のリバンドから中山へのロングパスが通り得点すると一気に流れは明星に、根津・亀掛川が連続ゴール、相手を突き放した。終わってみれば86-70勝利を手にした。さらに上を目指して走り抜く。

明星86-70都松が谷

高校男子 卓球

新人大会 団体戦ベスト16

11月13日、白鳳高校体育館で男子卓球新人大会団体戦が行われた。2回戦、都立昭和と対戦、吉村・都筑のシングルとダブルスで勝利。3回戦は吉村・岩田のシングルとダブルスで勝利、ダブルスは2ゲーム取られてからの逆転劇、ヒヤヒヤ物だったが自信もついた。4回戦はインターハイで負けている堀越、リベンジに燃えた。監督の、有賀先生も策を練る。4人のシングルスに1つのダブルス、有賀監督は白川を相手エースにぶつけ、吉村・都筑・岩田とオーダーを組んだ。ズバリ的中、白川は惜敗するも相手エースをギリギリまで追い詰めた。チームは勢いに乗った、立て続けにシングルス勝利、強敵堀越を3-1で退け夏のリベンジを果たした。5回戦、安田学園、4シングルス同時開始、応援も分散、吉村は勝っていたが、他のシングルス3つが負けたところでゲーム打ち切りとなり、0-3で敗戦となった。「2回戦の昭和戦が一番厳しかった。1戦1戦強くなっていった。応援メンバーと選手達が一体となった。堀越にリベンジ、シード権も確保できた。堀越戦、対戦メンバーがズバリ的中、思い通りの展開となった」と闘将有賀監督は試合を振り返った。

- 1回戦 不戦勝
- 2回戦 明星3-2都昭和
- 3回戦 明星3-2錦城
- 4回戦 明星3-1堀越
- 5回戦 明星0-3安田

高校女子 バドミントン

新人戦決勝トーナメント

11月23日、都立小岩高校体育館で新人戦決勝トーナメントが行われ1回戦、都立城東高校と対戦した。風邪気味だった石塚も復調、チーム一丸で試合に臨んだ。ダブルス川村ひかり・熊澤ペアが相手エースと激突、熾烈な戦いを繰り広げた。川村は団体戦初出場、雰囲気にもまれず戦い抜いた。結果は惜敗だったが相手エースを追い詰めチームのムードを盛り上げた。シングルス川村波が勝利。小林監督は「今大会大きく成長した」と言わしめる活躍をした。ダブルスで石塚・森山ペアが勝利、シングルスでエース石塚があぶなげない試合運びで勝利、3-1で城東を退け、東京都ベスト16入りをした。2回戦、インターハイ出場校の強豪、関東第一高と対戦、結果は0-3の敗戦だったが、どの試合も中盤まで喰らい付き大きな成長を見せた。予選を勝ち上がり、決勝トーナメント1回戦突破、東京都ベスト16、確実に進化し続ける、冬を乗り越え春大きく羽ばたくバドミントン部を応援している。「沢山の人の応援して頂きました。OBの皆さんにも助けられました。そして、選手一人ひとりの頑張りの結果だと思います。皆さんに感謝したいと思います」と嬉しそうに話された。

